



教育評価入門 — 資質・能力をはかる評価とは? —

講師：八田 幸恵（大阪教育大学 准教授）

「評価」は子どもの姿をとらえ、教育実践の改善にいかす営みそのものである、と言われていたが、いざ「資質・能力」を「評価」するとなると戸惑いは大きい。これでいいのか?と自問自答しながら取り組む学校現場の実態を踏まえて、「教育評価」の概念や方法についての理解を深め、問題解決に向けて議論する。附属高校の授業を継続的に見学し、教員が抱える問題を把握した講師が内容を構成。次期指導要領への対応に悩む教員必修!



プログラミング教育

講師：仲矢 史雄（大阪教育大学 准教授）

新学習指導要領で新たに導入されたプログラミング教育は、プログラミング言語を用いて記述する「コーディング技術」の習得が最終的な目的ではなく、子どもたちの「論理的思考力」をプログラミングという思考錯誤を伴う活動を通して身につけさせる、という大目標をもった教育分野である。現場で、本格的に取り組む必要のあるプログラミング教育のあり方を、世界各地でその必要性が認識されている「STEM教育」の流れとリンクさせながら議論する。



ファシリテーション・グラフィック

講師：藤原 友和（函館市立万年橋小学校 教諭）

「ファシリテーション・グラフィック」がどのように生まれ、日本に受容されていったのかという歴史的背景を解説し、その活用のための機能面をおさえる。その後、実際にやってみる活動を通して、実施の際の「勘所」が掴めるようにワークショップを構成する。「絵が苦手なんだよな」「まとめるのは難しそう」などと敬遠せず、描くことそのものを楽しんでいただければ嬉しい。



国際バカロレア

講師：大迫 弘和（武蔵野大学 教授）

国際バカロレア (IB) のディプロマ・プログラム (DP: 高校2年生3年生対象) のコア学習である「Theory of Knowledge (TOK: 知の理論)」について、その基本的構造を学習した後、IB教育の本質である「探究型学習」が具体的にどのように実践されているかを体験的に学びます。

講師 (講演・ワークショップ)

A 八田 幸恵 Sachie Hatta
大阪教育大学 学校教員養成課程
学校教育講座 准教授

2008年3月に京都大学大学院教育学研究科博士後期課程を修了。教育学博士。福井大学教育地域科学講師を経て、2013年4月より現職。専門は、教育方法学、カリキュラム論。卒業研究より一貫して、大規模カリキュラムではなく、教師が教育の主体として創り出すカリキュラムのあり方を研究してきた。

B 仲矢 史雄 Fumio Nakaya
大阪教育大学 科学教育センター
准教授

お茶の水女子大学講師を経て2010年4月より現職。2003年、理学博士取得(東京工業大学)。専門分野は理科教育、動物生理学、科学技術コミュニケーション論など。教育学を、これまでの伝統と最新の情報工学や脳科学の研究成果が融合する新しい学問分野ととらえ、実践的研究を進めている。

C 藤原 友和 Tomokazu Fujiwara
北海道函館市立万年橋小学校 教諭

1977年北海道生まれ。北海道教育大学教育学部函館校を卒業し、4年間の中学校勤務を経て小学校に異動。「研究集団ことのは」「教師力BRUSH-UPセミナー」「道南教育サークルLINKS」など多数の研究会に所属。主な著書として『教師が変わる!授業が変わる!「ファシリテーション・グラフィック」入門』(明治図書)がある。

D 大迫 弘和 Hirokazu Oosako
教育者 教育思想家 詩人

武蔵野大学教育学部教授、都留文科大学特任教授、Chiyoda International School Tokyo(CHIST)学園長、神戸親和女子大学客員教授。国際バカロレア(IB)教育の国内第一人者として知られ、文部科学省及びIB機構に協力しIBの国内普及に尽力している。これまで千里国際学園中等部高等部校長/学園長、Doshisha International School, Kyoto校長、リンデンホールスクール中高等学校校長、広島女学院大学客員教授、IB日本アドバイザー委員会等IB関連の各種委員会委員を歴任。東京大学文学部卒。

協働研究者・指導助言者

大阪教育大学

学校教育講座	金光 靖樹 教授	学校教育講座	瀬戸口 昌也 教授	学校教育講座	八田 幸恵 准教授
国語教育講座	松山 雅子 教授	数学教育講座	瀬尾 祐貴 教授	社会科教育講座	手取 義宏 教授
社会科教育講座	峯 明秀 教授	科学教育センター	仲矢 史雄 准教授	英語教育講座	吉田 晴世 教授
音楽科教育講座	田中 龍三 教授	美術教育講座	渡邊 美香 准教授	家政教育講座	加賀 恵子 准教授
健康安全科学講座	藤田 大輔 教授	保健体育講座	井上 功一 准教授		

ごあいさつ

大阪教育大学池田地区附属学校では、小学校・中学校・高等学校の教員が定期的に顔を合わせ、子ども達の12年間を見通した教育について議論を重ねています。

共同研究を始めて9年目の今年度は、2年前に研究主題とした「つなぐ力をもった子どもの育成」を継続した各校種間の共通テーマとしつつ、各校種が取り組むべき課題について校種を超え研究を進めることで、新しい時代に必要となる資質能力の育成をめざしています。

ご多用の折とは存じますが、多くの皆様のご参会を心よりお待ちしております。

平成30年9月

大阪教育大学池田地区附属学校共同研究協議会委員長
大阪教育大学附属池田小学校長 佐々木 靖